（別紙様式第２号）　　　　　　　　契　約　内　容　確　認　書

大規模契約栽培産地育成強化事業の対象とする契約取引の内容等

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 採択年度  （契約年度） | 令和　４　年度  （令和　年度分） | | | | |
| 対象品目 | （品目及び品種名） | | 〇〇〇 | | |
| （用途） | | 〇〇〇  ※「加工・業務用」、「生食用」、「輸出用」のいずれかを記載 | | |
| （輸出先国） | | ※「輸出用」のみ記載 | | |
| 契約期間  （注１） | 令和　　　年　　　月　　　日　～　令和　　　年　　　月　　　日 | | | | |
| 契約方法  （注１） | 契約数量  （ｔ） | ○○.○ｔ | | 契約面積  （ha） | ○○.○ha |
| 加工形態（注２） |  | | | | |
| 契約を増加する  理由（注３） |  | | | | |
| 備　考（注４） |  | | | | |

上記の内容に相違がないことを確認します。

令和　　年　　月　　日

住所：

　　　　　　　　取組主体名**：**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

令和　　年　　月　　日

住所：

（注５）中間事業者名： 　　　　 　　　　　　　　　　　　印

令和　　年　　月　　日

住所：

実需者名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

（注） １． 契約書を取り交わしていない場合は、契約書に準ずるものとして、本様式を提出するものとする。

２．（注１）については、契約期間が１年を超える場合は、様式に記載欄を追加して取組年度ごとの出荷期間、契約数量又は契約面積が分かるように記載する又は、別紙において一覧表を作成し添付することも可能とする。

３. （注２）については、取組主体自らが対象品目を原料又は材料として使用することにより製造又は加工する場合に限り記載する。

４．（注３）については、契約数量又は契約面積が過去の実績より大幅に増加している場合にあっては、その理由を明らかにした上で、輸入品の代替等であり既存国内産地からの置換えではないことを示すこと。

５．（注４）については、契約開始時期が出荷開始時期と異なる場合にあっては、「出荷開始時期は　年　月　日」などと記載すること。

６．（注５）については、中間事業者を経由する場合のみ記載するものとし、複数の中間事業者を経由する場合にあっては、記名欄を追加して全ての中間事業者を記載する。

７． 取組主体、中間事業者及び実需者の順番は変えないこと。

８．対象出荷期間が特定された品目については、目標年度に事業対象ほ場における契約取引の全体の出荷量のうち２０％以上を対象出荷期間に出荷することに留意すること。

９.「輸出用」の対象契約の相手方に、加工・業務用の対象契約の実需者を含む場合は、輸出用の対象契約の実需者と区別して記載すること。